

修了式「すべての命を守る」3/24

今日は、令和3年度、最後の登校日となりました。4月からは、ひとつひとつ学年が上がり、6年生は小学校を卒業して中学生になります。

その最後の日に、本当は全員が集まって、みんなで顔を合わせながら、修了式を迎えたかったです。でも、感染防止のために、今日もオンラインとしました。すべての人の命を守ることが、一番大事だからです。

皆さんは、このことを、この2年間、ずっと聞かされてきました。「命が大事だから」「命を守る」もちろん当たり前のことです。でも、何回も、何十回も聞かされ、遠足や移動教室が何回も延期になったり、音楽の授業で歌えなかったり、このままどうなってしまうのだろうか、不安で、あきらめることが当たり前になってしまったかも知れません。

でも、先生方は何もあきらめていません。いつも、どうしたらできるだろうかと知恵を絞って、アイデアを出し合いながら、よりよい方法を考えています。みなさんもそうです。だから、この1年間、コロナ禍の中でも、ほとんどすべての活動ができました。もちろん、今まで通りではなくたくさんの工夫があります。すべての命を守りながら、どうしたらできるだろうかを実現してきたのです。先生方と皆さんに拍手です。

この3ヶ月間で、何人かの人が感染し、今週は学級閉鎖もありましたが、皆さんが感染防止を徹底してきたおかげで、富士見丘小は、健康に過ごすことができている。皆さんの努力の結果です。感染した子たちも、大事に至らず、順調に回復しています。それでもまだ、今も、いつ、どこで、どのように感染してもおかしくありません。どんなに気を付けた生活をしていても、どうしても感染してしまうことがあります。

皆さんの素晴らしいことは、感染について、以前お話をした「偏見」や「差別」の気持ちや、まったく無いということです。

お友達が陽性になりました、と聞いた時、誰だろう、とか、うつされたら嫌だな、という気持ちがありません。陽性になったお友達の具合を心配してくれたり、回復して登校できるようになったら、心から喜んでくれたり、お友達が風邪をひいて休んだ時と同じですね。

これからも大切なことは、「誰かから感染させられたら嫌だな」と被害者のように考えるのではなく、自分が感染しているとして、「誰かに感染させないようにしよう」と考え、感染防止を徹底することです。感染防止というのは、「感染しない」と同時に、「感染させない」という考え方がとても大切です。

今年度最後のお話も感染症のことになってしまいました。これ乗り越えながら、一生懸命生活している皆さんは、本当に素晴らしいと思います。春休みも、4月からも、「すべての命を守る」ことを大切にしながら、楽しく、充実した学校生活を作っていきましょう。